

# 住友コレクションの美術館 泉屋博古館が生まれ変わります

住友家15代当主・春翠が  
収集した中国青銅器が  
核となる「住友コレクション」。  
そのコレクションを  
有する美術館・泉屋博古館  
(せんおくはくこかん/京都)は、

**2025年4月に  
リニューアルオープン  
いたします。**



## information

### 泉屋博古館

(せんおくはくこかん)

SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM

住 所 〒606-8431  
京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24  
T E L 075-771-6411

#### 再開後の予定

入館料 一 般 1,000円(特別展1,200円)  
学 生 600円(特別展800円)  
18歳以下の方は証明書ご呈示にて無料  
※20名様以上は団体割引あり  
※障がい者手帳等ご呈示の方はご本人および  
同伴者1名まで無料

時 間 10:00—17:00(入館は16:30まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)  
展示替え期間中、夏期・冬期

U R L <https://sen-oku.or.jp/kyoto/>

S N S X : @SenOkuKyoto

f : @SenOkuHakukoKan

ig : @senokuhakukokanmuseum

泉屋博古館は、1970年に竣工した1号館と1986年竣工の2号館の  
ふたつの建物、そして小川せせらぐ前庭『泉屋博古の庭』、  
東山の借景が美しい中庭をそなえる美術館です。

そのはじまりは、前回の大阪万博。世界各国から訪れる人々を  
もてなす迎賓館として誕生しました。

現在、これらをひとつの空間としてこの先も大切に守り、  
より一層皆様に快適にご利用いただけるよう  
改修工事をおこなっています。

2025年は、誕生のきっかけにもなった万博が、再び大阪で開かれる年。  
この機会に合わせて、ぜひ、京都へもお越しください。



コレクションの主役である中国青  
銅器は、祖先神に酒・穀物・肉を供  
えるための約3,000年前の器で、  
音楽を供する楽器も作られました。  
古代の精緻な文様とデザインは  
必見。訪れた人の「器」に対するイ  
メージが一変する存在感です。

館内の細部にまで改修を施しております。  
これからも長く美術品の魅力を伝えていくために

point 1/ **展示室はより広く、より美しく**

企画展の開催会場に新しい展示室が誕生。大きな部屋ではありませんが展示会の充実に貢献します。青銅器館の展示も刷新。鑑賞体験が向上します。



point 2/ **青銅器館本来の建築意匠へ**

建物の意匠をこわしていた中央階段の車いす用リフトを撤去。竣工当時の姿を取り戻します。リフトの移設先には『泉屋博古の庭』を臨む新しいスポット「眺めのいい部屋」が。

point 5/ **ユーザビリティの向上**

門から建物への石畳のルート的車いすも通れるバリアフリーに改良。歩行もしやすくなります。またこのたび多目的トイレや授乳室を新設。より多くの皆さまに安心と快適を。



point 4/ **文化財を未来へ**

脆弱な文化財を安全に保存するため、収蔵庫を増築します。貴重な作品を後世へ継承するとともに、コレクションのさらなる充実をはかってまいります。

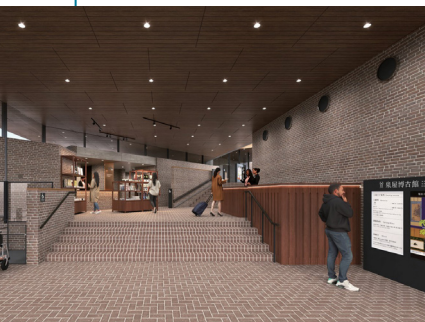


point 6/ **ショップの開設**

改修前はミュージアムグッズをインフォメーションの一角で取り扱っていましたが、念願のミュージアムショップを新装オープンします。オリジナルグッズも続々登場、ここでしか買えない商品も取り扱います。



point 3/ **美術館の新たな「顔」**



現代のニーズに対応する大きなインフォメーションカウンターが出現。古い建物と調和した美術館の新たな「顔」として皆さまをお迎えます。大きな荷物もお預かりいたします。

ほっとひときつける人気のスポットはそのままに。

**泉屋博古の庭**

名匠「植治」の11代小川治兵衛が手がけたこだわりの庭園。開館中の出入りは自由、散策のついでにお立ち寄りください。



**四季を楽しむ中庭**

渡り廊下から眺める中庭。東山を借景として京都の美しい四季を満喫いただけます。

